

日本原子力学会 標準委員会 発電炉専門部会
確率論的安全評価（レベル1及びレベル2）分科会
第1回 レベル2 PSA作業会 議事要旨

日時：2004年2月25日（水） 13:30～16:30

場所：原子力安全基盤機構 第15会議室

出席者：

委員 石神、大野、梶本、喜多、倉本、桜本、住田、濱崎、久持、西川(前原代理)、山越 11名出席

発言希望者 村松(分科会主査)、加藤、黒田、

事務局 太田

配布資料：

P4WG1-1 日本原子力学会標準委員会

P4WG1-2 標準委員会専門部会運営通則（抜粋）

P4WG1-3 委員名簿

P4WG1-4 標準化の進め方

P4WG1-5 標準構成について（ドラフト）

議事要旨：

議事に先立ち、事務局より委員11名中11名が出席しており、本会議が決議に必要な定足数を満たしていることが報告された。

1) 標準活動他について

事務局より標準委員会の概要、運営内規等の説明がなされた。（P4WG1-1,2）

2) 自己紹介、役員選出について

自己紹介の後、主査の選出が行なわれ、互選にて梶本委員が主査となった（梶本委員：9票、石神委員：1票、住田委員：1票）。主査の指名により、住田委員が副主査、両者の協議により、喜多委員が幹事に決定した。

3) 人事について

加藤氏（JNES）、黒田氏（保安院）が新たに委員に選任された。また前原委員が退任し、新たに西川氏が委員に選任された。

4) 標準化の進め方について

村松分科会主査より、作業会設置の経緯などについての説明、梶本主査よりレベル2手順書作成の進め方の提案がなされた。（P4WG1-4）

・作業会の名称を「レベル2 PSA」作業会とする。

・今年の夏頃を目途にドラフト作成、1年程度を目途に完成と考えている。

→標準策定のスケジュールによるので、部会などで議論となるかもしれない。全体のスケジュールは部会・分科会の意向に従う。

・標準作成においては、「確率論的安全評価（PSA）実施手順に関する検討－レベル2 PSA、内の事象－、平成5年10月、（財）原子力安全研究協会」（以下レベル2手順書）をベースに、「シビアアクシデント対策評価のための格納容器イベントツリーに関する検討、平成13年7月、（財）原子力安全研究協会」（CET自主基準）の新知見を取り込む形としたい。（他にASME Standard等）

・スタイルは、レベル1の標準にあわせ、「How to do」（手順）ではなく、「What to do」（要求）とするが、「How to do」の部分をできるだけ解説として記載していくこととする。

→「What to do」は、ASME Standardをはじめ、IAEAでもこの形式のTECDOCを作成中であり、世界的な流れとなっている。

5) 標準の構成について

住田副主査より標準の構成について、レベル2手順書、CET自主基準、ASME Standardの比較の観点で説明がなされた。(P4WG1-5)

P4WG1-5を基に、構成については次回議論する。

6) PSA Quality for Applications (IAEA) の紹介

梶本主査より、標記について、現状はドラフトであるが、最終的にはTECDOCとして発行される予定であり、記載ぶりなどは、ASME Standardと同様な要求形式で、この形式がスタンダードとなっていくものと思われる、との紹介があった。

第2回作業会予定：

スケジュール：

3月25日(木) 13:30～(JNES会議室)

→3月23日(火) 13:30～(JNES第15会議室)に変更

検討内容：

- ・標準の構成について
- ・標準の記載(フォーマット)について(事務局から説明)

以上